

前回11月30日の例会記録

出席の状況

会員数 56名（内出席免除 4名） 出席者数 39名 欠席者数 17名

出席率 72.22% 前々回訂正 87.04%

欠席者 原、樋口、日笠(常)、岩本、加戸、鴨井、金子、笠原、木本、小橋、松村、仲田、大賀、高橋(裕)、槌田、(平野)、(渡辺)

S.A.A.



小菅会員

皆さま御心配をおかけしました。これからはタバコも止め、健康的な暮らしをしようと思いますので、悪い道への誘いは御遠慮申し上げます。



原田会員

11月24日IDMで御利用ありがとうございました。はまゆう一同感謝しています。



西岡会員

・18日に出張先のスリランカにて Colom boeastRCにメーキャップして来ました。
・小松原様、12月4日から、お世話になります。



平松会員

小菅英司会員の禁煙成功まことにおめでとうございます。外科の主治医に入院中に禁煙を決意してもらうようお願いしていました。若返って見えますよ。



家守会員

先日のIDMをドタキャンすみませんでした。



氏房会員

結婚記念日のお花ありがとうございました。遅くなりましたがスマイルします。



横山会員

昨日はあるゴルフコンペに、同好会の皆様(60才以上の方中心に)を御案内したところ、多数の方の御参加があり、ありがとうございました。天気が良かったのが何よりでした。



相原会員

結婚祝いのお花ありがとうございました。

以上、8件 35,000円(累計 429,000円)

会長報告

会長 堀川辰也

最近、杉原千畝の映画が話題になっていますが、杉原千畝が知られるようになったのは、数年前から教科書に取り上げられてからで、我々の中学・高校時代には教科書に載ってなく、私も最近になって知りました。杉原千畝はユダヤ人6000人を救った日本の偉人の一人だと思いますが、最近出版された「先生、日本ってすごいね」という本に、杉原千畝がユダヤ人を救う前に、前例があったことが載っていました。それは、昭和13年3月、満州国の特務機関長だった樋口季一郎少将が、満州国との国境の町ソ連のオトポールにユダヤ人(一説によると2万人)が、零下30度にもなる季節に満州国に亡命を求めて来たときに、人道的判断で独断で入国を認めたことがあったそうです。また、日本占領下の上海において、ユダヤ人(一説によると18000人)を保護した犬塚惟重大佐などもあり、これらの前例があったことにより杉原千畝が発給したビザが生きたそうです。杉原千畝は今メディアが盛んに取り上げていますが、前例を作った二人の軍人は全く取り上げられないのは、如何かと思います。



幹事報告

幹事 入江直人

- ① 12月のロータリーレートは1ドル=120円です。
- ② 岡山備南RCより創立40周年記念式典への会長・幹事出席の御礼状が届いております。
- ③ 倉敷RCより第39回岡山県インターアクト指導者講習会へのインターアクト委員長出席の御礼状が届いております。
- ④ 林原美術館より、クリスマスジャズナイトのご案内が届いております。テーブルにチラシを配付しておりますので、ご興味のある方は、12月6日までに申し込みください。
- ⑤ 他クラブ週報を回覧致します。
- ⑥ 国際大会に登録頂いた会員の方々、ありがとうございました。



例会プログラム

第2回 IDM

プログラム委員長 川 本 洋



11月24日、第2回IDMを原田会員のお店「はまゆう」で開催しました。

冒頭、小松ロータリー情報委員長よりロータリーについて話を頂きました。今回は、出席者が次回の例会で発表を行うということで、少し身構えていましたが、お酒も進むにつれその緊張もほどけ、楽しい時間を過ごしました。

次回のIDMは多数の会員の皆様に参加をお願いいたします。

本日の例会プログラムは、初めての試みとなります。新旧のプログラム委員長の会合がありまして、他クラブでIDMの発表を実施しているクラブがありましたので、この度の実施に至りました。

◎小松 忠男 会員 IDMで学んで頂きたいのは、ロータリーとは何ぞや、と言うことです。そのために若い会員にお願いしたいのは、ロータリーの友を読んで頂くことです。ロータリーの友には、ロータリーは何をしているのか、何をしたいのか、何をするのか掲載されています。他クラブが起こした行動を通じてそれを知ることができます。一個人や一会社では出来ない奉仕活動があることを知って欲しいです。

◎家守 政孝 会員 今年入会して、だいぶ慣れて来ました。仕事が忙しくて例会には出席出来ないこともありますが、夜間の例会やIDMにはなるべく出席しております。わきあいあいとした雰囲気の中、楽しく参加させて頂いております。

◎橘高 正剛 会員 今年入会してやっと、皆様の顔とお名前が一致して来たところです。ロータリーを通じて様々な業種の方々と交流し、自分自身の器がもう一つ大きくなる場にしたいと思っています。

◎高橋 峯男 会員 IDMは、その昔、ファイヤー・サイド・ミーティングと言っていました。ロータリーが発祥したシカゴの冬は寒く、暖炉のそばで若い会員も年配の会員も一緒にロータリーについて熱い思いを語りあっていたものが日本に取り入れられ、発展したものが今日のIDMではないでしょうか。

これからも、皆様の合意の下、IDMを発展させて行くといいのではないのでしょうか。

◎堀川 辰也 会長 IDMや例会を通して、先輩方に色々なことを教えて頂いた記憶があります。若い会員の皆様は積極的にIDMに参加して頂くといいのではないのでしょうか。IDMに出席し、先輩方から色々なものを吸収して欲しいです。

◎南葉 幸雄 会員 私は、人生一般についてお話したいと思います。私の人生は第4コーナーではありますが、ラスト・スパートはまだだと考えています。人生に何が一番大切かと問われれば、私は躊躇なく「それは笑いである。」と答えます。人生には辛いこともあります。笑う門には福来るです。

まとめとしまして、IDMはロータリーのことを勉強してもらおう場であるとともに、会員相互の親睦を深め、帰る時には皆様に笑顔になってもらう場である、ということになると思います。

クラブ情報

「第2回高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」の反省会

青少年奉仕委員長 小松原 隆代



11月8日に開催されました、「第2回高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」は参加した高校生及び先生方に大変喜んで頂きました。これも皆様のご協力のおかげです。改めましてありがとうございます。

来年も開催の予定ですが、本日は来年の開催に活かすため、反省点を皆様からお伺いしたいと思います。

会員から寄せられた意見

- ・日程について、本年は岡山マラソンと同日となったが、開催時期をどうするか。
 - ・参加校に配布するDVDの作成を業者に委託するか、本年同様会員が作成するか。
 - ・審査の時間を基調講演の時間にすべきではないか。
 - ・基調講演は、高校生が歴史・文化に興味を持つ糸口となるので、実施すべき。
 - ・他クラブとの連携について具体的な話があるのかどうか。
 - ・他クラブとの連携により、費用負担や役割が軽減される。また、参列者の増加が見込める。
 - ・参加校の増加により、表彰状の用意に時間がかかったため、改善すべき。
 - ・会場案内の標識を分かりやすく目立つものにすべき。
 - ・参加者を高校1,2年生としているが、3年生が参加しても良いのではないか。
 - ・参加者は、基本的に高校1,2年生とするが、希望があれば3年生、また中高一貫校の中学生も参加可能とする。
 - ・参加依頼時に持参する資料について、より詳しいものとすべきではないか。
 - ・聴衆に若い世代が少なかったため、SNS等で開催のアピールをすべき。
- 等のご意見が寄せられました。

第39回岡山県インターアクト指導者講習会の報告

インターアクト委員長 日笠 常信

1.日時等 2015年11月23日(月)10時～15時半 岡山市中区 おかやま西川原プラザ
出席者

県内8高校 I C生徒、8提唱RC I C委員、藤原健一ガバナー補佐外地区RC委員
当クラブ出席者：日笠常信

岡山理大附属中学・高等学校：河村定彦校長、ジェニファー・ニコル・ヘンリー先生、是沢晋哉先生、
西野大樹先生、高3松崎智子さん、高2吉田忠昭君、同谷口健太君

2.内容 午前：開会式、記念講演「愛の働きについて」社会福祉法人岡山博愛会 理事長更井哲夫先生
午後：班別会議 講演を題材に グループに分かれて討議、各グループからの発表

3.感想等 博愛会の礎を築いたアダムズ宣教師の生涯と普遍的な価値である「愛」について講演を聞き、討
論等をした。ロータリアンにも有意義であった。次年度は当ロータリークラブと理大中高がホストです。



ゴルフ同好会報告

ゴルフ同好会 副幹事 西 岡 貞 則

12月2日、原田会員のお店「はまゆう」にて忘年会を開催します。11月27日の時点で13
名の方が出席予定となっています。ご出席予定の皆様、よろしくお願い致します。



淡路阿波の歴史文化にふれる旅（其の五）

10月11日～12日

ドイツ兵俘虜とのふれあいとお接待のこころ

明治以降、我が国は殖産興業とともに軍備の整備増強に努めてきた歴史がある。日清・日露戦争を経た1914(大正3)年6月、ヨーロッパにおいて第一次世界大戦が勃発する。日本は日英同盟のもと、早くより参戦の意を固めドイツに宣戦布告する。9月ドイツのアジアの拠点である青島を攻撃するために、山東半島に上陸を開始、10月青島を攻撃し、11月7日ドイツ軍は降伏した。この攻撃によりドイツ兵4620人が俘虜となり、日本に移送され全国12ヶ所の収容所に収容された。

1917年4月、四国の松山、丸亀、徳島に設置されていた収容所が統合され板東俘虜収容所として、最多で千人を超える俘虜が1920年までの約3年間ここで過ごした。のち郷里の会津若松市長となる所長の松江豊寿は俘虜を人道的に扱い、自主性を重んじ、地域住民との交流を促進させた。こうしてドイツ文化の伝導がなされ、乳牛の飼育とミルク・バターの製法をはじめとした農法の伝授、また音楽演奏を通じた住民との触れ合いが活発に行われた。なかでも、ベートーベンの交響曲第九番を日本で初めて全楽章演奏したことは有名で、現在第九のふるさと「ドイツ館」として紹介され、ドイツとの交流が続いている。近くの大麻山の麓には、阿波の一宮「大麻比古神社」がある。この社の森のなかに、彼らは石積みの橋を建造し、地元民に感謝の気持ちを表した。「ドイツ橋」として今も遺っている。近くには第一番札所「霊山寺」、第二番札所「極楽寺」と続く四国八十八か所の札所が多い。お接待のこころで巡礼者を迎える地域住民とドイツ兵とのふれあいは、さぞかしこころ温まるものであったろう。

今回、淡路と吉野川下流域の阿波を旅した。徳島県は山間地域が多く、過疎高齢化の波は着実に進んでおり、県もあれこれと戦略を練って県の発展に取り組んでいる。現知事は「そう、徳島県から世界を変えよう」「徳島県VS東京」といったスローガンのもと、県民を鼓舞し、独自産業の育成や交通政策を推進している。京阪神と橋で結ばれ、四国というより京阪神の圏域に入った感じがするが、独自性を生かして発展を続けて欲しい。次男が徳島県の行政に関わっており、「親しみのある徳島県」の歴史文化の一端にふれることができ、子供を理解する旅ともなった。(完)

岡本和夫



12月お祝い行事

例会情報

本日のメニュー（12月7日）

井 炙りサーモンといくら丼（錦糸玉子 大葉 山葵 檸檬 舍利（煎り胡麻））
別盛り（針海苔 県産昔醤油） 小皿 じゃこ天炙り 生姜醤油
小鉢 蒸し鶏、くらげ中華風 胡瓜 温物 茶碗蒸し 銀餡掛け 絞り生姜 赤出汁 三種

次回のメニュー（12月14日（ヘルシーメニュー））

甘鯛のポワレ オリーブオイルとトマトのソース サラダ仕立てのきのこのマリネ
デザート コーヒー パンとバター